



昨年のアベイユドロンシャン賞に続き、今年も欧州短距離戦線に挑戦し ているアグネスワールドが、7月13日、ニューマーケット競馬場で行わ れたジュライカップ(英GI)に出走した。高松宮記念3着の後渡欧し、 キングズスタンドS(英GII・2着)をステップに順調に調整を続けて、 堂々の1番人気に推されていた。早めに抜け出したアグネスワールドは ゴールが近づくにつれ英国のリンカーンダンサー、パイパロングに追い つめられたが、短頭差しのぎ切って優勝。日本馬の英国レース制覇は史 上初めてになる。

高橋直子=文 text by Naoko Takahashi 長浜永於人=写真 photograph by Naoto Nagahama

Play-back
Group-IRaces
2000

## ジュライカップ(英GI)速報

## アベイユドロンシャン賞(MGI)に続いて 念願のイギリスGI初制覇 アグネスワールド

45 YUSHUN 2000-AUGUST

スだ。ロイヤルアスコットの主催者は女スコット開催の初日に組まれたGIIレー 出走させることはオ スで着飾って出かける。 われるスプリ 名誉なこととなる。 イギリスでは最も格式高く華や ティングである。 ント戦。これはロイヤルア 女性は美しい この開催に馬を 男性はシルク にとってとて

かという質問に森調教師は簡単に答え 50

イギリスの

スを選んだ

ルドは暖か 使う スがない 方が体が か

> らね 柔かくなって走る馬。この時期、 はスプリントのGI が目白押しやか 3

> > 競馬ファン魂をくすぐるのだ。

春先にち

インした。ワ ぶ間もなくワ

ルドは1馬身½差で2着。

を抜き去ってゴー

私は

武幸四郎騎手騎乗のド

ジマ

この貪欲さとグロー

バルな視野が私の

「もうフランスは二度やっ 確かにそうである。そして答えは続く。 スの番でしょ」 つけてるから

た。行くと言ったら行くのが森チー

ぐにホテルとエアチケットの手配をし ほら遠征話の噂が伝えられた頃、

着に終わった。

武豊ジョッキ

前日まで

いい天気だったのが、当日は

るものか。

シャン賞の時より馬場は硬かったのだけ路面が少しでこぼこで、アベイユドロン

ちょっと走りにくい感じだったと

また調教師の話ではやはり高松

行かなくてどう

前中まで雨が降った。公式発表はグッ

ね

帰らなけ スプリントカップも走らせたいがなければ続くナンソープステ の終わり頃には決めてたかな。 ではいつごろ遠征を決めたのかと続けて 質問すると「今年の初め、 森厩舎の限りないチャレンジ精神だ。 れば褒賞金が出ない。その規則 も走らせたいところだ いやもう去年 ークスも 2カ月で

かなり水を含んでいる。

でいる。キングズスタンームだったものの馬場は

のこと。

宮記念以来の競馬で馬がちょっとポケ

としていたみたいだし、

ウエイ

・ファ

GⅢを勝ってきたルディーズペット。そ番人気は今年に入ってレパーズタウンのドステークスへのエントリーは23頭。1

いということだった。馬より背負わされていたのでしかたがな

「勝ちたかったが出だしとしてはまず

と答えが戻ってきた。

ロンシャン賞で負かしたインペリアルビ

二度GIで連対したことのあ

して昨年アグネスワー

ルドがアベイユド

母Mysteries (父Seattle Slew) 栗東・森秀行厩舎 馬主/渡辺孝男氏・吉田照哉氏 生産者/カルメットファーム 通算成績/18戦8勝 主な勝ち鞍/ 00ジュライC(英G I ) 99アベイユドロンシャン賞(仏G I) 99CBC賞(GI) 97全日本3歲優駿(G I) 97函館3歳S(GⅢ)

フランスのGIを勝った日本か

ルアスコット<sub>と</sub>

ということでプ

レッシャ

はプ

レッシャーはなかったが乗っ

ものだった。

ジョ

メディアの評価は悪くなか

ていたが、 スのメデ

イアのインタビューにそう答え

後武豊ジョ

丰

ーはイギリ

中でも目立った質問はロイヤ

そんな気持ちでスタ

と思っ

いて満足している様子。

いかにこの開催

ている間も乗っていることを誇りに思っ

いたと答え、聞いた方はその答えを聞

がイギリスの競馬界において特別な存在

なのかを知ることとなった。

2着という結果に次の日のレ

父Danzig

タイム(着差) 単勝オッズ

5.5 11.0 6.0 7.0 9.0 34.0 67.0 7.5 21.0 ったが、 見てろよ。 どが続いた。 は少ない。単勝のオッズは最終的に17倍。 るゴドルフィンチー らの遠征馬などに敬意を払うイギ

ロッシーニ ワールド て好位にと アグネスワ ったのだが。 クでは落ち着き払ったド 先頭を行 かもワ かしまた巻き返し、 当然ロケ りつく。 先頭に躍り出る。 ルドは走り いのはワッ ルドはもたついた。 スタ を切る

く持った。

た。次なるGIジュライカップは、スで認められた」という印象を強

るようであった。

チー

ム・アグネスは心に固く誓

ョッキー、森調牧師らこポスト紙ではアグネスワ

ルド、

武豊ジ

ッキー、

森調教師らにも紙面がさかれ

(日) (英) (英) (英) (UAE) 社6 132 武豊 社4 125 M.ロバーツ 牝5 128 K.ダーレイ 社4 125 P.エデリー 社6 132 J.リード 社5 132 R.ヒルズ 社4 125 武幸四郎 短頭 短頭 1½ クビ 3 パイパロング 4 プリモパレンティノ 5 レンドアハンド 6 ベルトリーニ (UAE) ウイニングベンチ 牡4 125 J.クイン 13/4 牡4 125 G.ダフィールド 3/2 8 トリンクロ (英) 愛英 9 モナシーマウンテン 牡 125 U.サプル 牡 4 125 出走取消 10 ムンジズ

ニューマーケット競馬場 7月13日 | 着賞金95,700ポンド

(調教国) 性齢 斤量 騎手

ジュライC(GI)

着順 馬名

4歳上 芝60 曇・稍重 10頭

アグネスワールド Agnes World 1995年4月28日生 牡6 黒鹿毛

Ⅱを勝ってきた馬が飛び出して来て、 仕種を見せている。と思ったら一旦後退 前から見ているため展開が読みづらい 後ろをいい気合で歩いて気配は悪くなか しかし馬群は一塊で チング。 いうフランスのG どきのめるよう 思わず声が出る。 ジマムテキの そこヘニュ 23番枠か

> 笑顔の中の誇り高き顔つき ジュライ

に調子が良さそうだった。 グネスワー から3週間後。 三後。7月10日に追い切ったアーカップはロイヤルアスコット ルドはピカピカで、 ほんとう その



こから

一旦下

ってまた上り、

3

り頂上の向こうにあり、

スタンドからは

あるが、

1200000スタ トのジュラ

地点は登

イコ

ス。 3

直線では はニュ

ジュライ

カップの行り

0

馬場は極端に悪くなることもなく一安心 雨が降った。しかし午後までには止み、7月13日の当日はまたしても午前中まで

前日天気が良かったのにもかかわらず

が続き、

ハードな

スである。 それから上

牡6 128 F.リンチ アタマ 67.0 牝5 125 M.ロバーツ 牝4 119 M.キネーン アタマ 21.0 21.0 報6 128 G.ハインド 牡8 128 T.クイン 駅9 128 C.ロウザー 牡4 122 R.ヒューズ 牝5 125 K.ダーレイ 牡4 122 M.フェントン 牝4 119 R.ヒルズ 短頭 67.0 3/<sub>4</sub> 3/<sub>4</sub> 短頭 21.0 67.0 15.0 アタマ 15.0 67.0 21.0 牝4 119 G.ダフィールドクビ 51.0 牡4 122 T.マクローリン 短頭 51.0 牝5 125 O.ペリエ 牡5 128 J.キャロル 21.0 67.0 牡9 128 J.リード クビ 15.0 騙7 128 K.ファロン 4.5 騙7 128 D.ハリソン 15.0 牡11 128 武幸四郎 151.0 23 トラヴェストリーオブロー(英) 騙4 122 D.マクケーブ 101.0

ウイナーズサークルで待ち受けて

いた関係者は、笑顔でアグネスワ ールドを迎え入れた

ド以外で一番よく見

わたしの目にワー

チャーに騎乗する。

があるの に経験している。 カからやってきた武豊ジョッキーは前ャンスだ。また、この日のためにアメ 前々日とレ ドックではワ はアグネスワ ースに出てコースをすで 心強い。 はっきり言って一番力 ールドだ。 -ジマムテ 今日は

良いもの ハンドは相変わらず黒光りしており、 もいない の落ち 文句ない。反対にベルト 看きすぎの感。幸四郎**ジ** もリラックス 番のウイニングベン して毛づやは レンドア して落ち

見えない スに出た。 走取消。 ってスタンドへ走る。 パイパロングだった えたのは5歳牝馬の アグネスワ シーニがなかな 双眼鏡では -に入らず 単勝を買 先にコー ルド

タイム(着差) 単勝オッズ

アタマ

17.0

17.0

8.0

8.0

アグネスワ れている。 ど真ん中でプリモ た馬が入るとす 見つめる。残ってい した先行集団に囲ま 悪くないスタ -フビジョンをないのでひたす が切られた。 た上り、ワ ールド を先頭に

アスコット競馬場 6月20日 | 着賞金81,000ポンド

(日)

(英)

(愛)

英英英英英英英英

英英英英

(日)

(UAE)

(調教国)性齢 斤量 騎手

牡6 131 武豊

牡5 128 J.ベイリー

牝5 125 P.エデリー

4歳上 芝5° 曇·良 23頭

2 アグネスワールド

3 ベルトリーニ
4 インペリアルビューティ
5 イースタンパーブル
6 カサンドラゴー
7 ウォリアークイーン
8 ロードキンタイア
9 ランブリングベアー
10 ボルショイ
11 ワッチング
12 フランダース

3 ベルトリーニ

13 ザタットリング

15 セラフィーナ

17 セルティチュード

19 ペリストンヴュー

20 ルディーズペット

22 ドージマムテキ

21 プラウドネイティヴ

16 トリンクロ

18 ロッセーリ

1 ニュークリアディベート(仏)

着順 馬名

んでくる。スタンドに遠い方からアグネたパイパロングがスタンド側から追い込 ま行けるという気持ちが交錯する。先行 なったところで少しスタンド で余裕のまっすぐの走り。 していたリンカーンダンサ ロングの順で団子になってゴールに雪 少し早 し、馬群を割って先頭に躍り出てき ルド、 スタンドに遠い方からアグネ リンカーンダンサー か、 下って平 から反対側 と中団にい とこのま

のチ 感である。 初めてのイギリスG 悠々と拍手を受けながら人々の間を戻っ 走ると、 に立ち会えた。見ている私でさえこの快き日本競馬の海外遠征の歴史的一ページ 下りたジョッキー、調教師と私も喜びのき顔つきに驚く。成長したものだ。馬を 勝ったことを確かめてからパドック ッキー くるところだった。ワー 後検量を終えて戻って来た武豊ジ ムがやってのけた。またすばら を背にしたアグネスワ をイギリスの記者たちが囲む。 ちょうどニコニコ顔の武豊ジ れしい」とジョッキ スタッフ一同はどんな痛快さ 制覇である。「ほ ルドの誇り高 またこ が

よね 次はあそこをやっつけな と森調教師に聞く フランス、 いけ ませ

間にやってみたい とも。その笑顔の なんとか豊ク ね が行 って

ルドは? を求める。 武豊ジョ スのプレス達に逆に グネスロ 彼らは答 コ

フェクトノ

0

のコメントによる